



PRESS RELEASE

令和 5 年 8 月 31 日

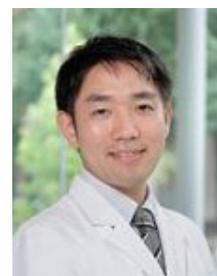
次世代人材の発掘：岡山大学病院が高校生と共に医療 DX を推進**◆発表のポイント**

- ・ AI 発展に伴う IT エンジニア需要の高まりから、デジタル人材が不足している。
- ・ 高校生のうちから医療課題を認識することで、将来的な医療 DX 人材育成を目指す。
- ・ デジタルネイティブ世代の柔軟な感性を以て医療 DX の将来を見据えた開発に取り組む。

社会全体で DX（デジタルトランスフォーメーション）推進が急務となっている中、最近の AI 技術の急速な発展は、多岐にわたる分野で IT エンジニア不足を慢性化させています。巨大企業が人材確保のために巨額な資金を投じ、ベンチャー企業が優秀な学生を次々に引き抜く中、有能なエンジニアの獲得が一段と厳しい状況となっています。特に医療分野における DX は、企業の収益に寄与するプロジェクトから優先されるため、実際の患者や医療従事者が望む DX 事業の推進が難しい状況にあります。その上、医療の特殊性から、医療知識がなければ DX 開発が困難なことも顕著な問題となっています。このような背景の中で、岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）医療情報化診療支援技術開発講座の長谷井嬢准教授（整形外科）が、画期的な取り組みとして関西高校と連携し、高校生の雇用を開始しました。この取り組みは、高校生から医療 DX に関する実務経験を積みながら、未来の医療 DX エンジニアを育成する目的を果たすものです。このプロジェクトによって、現場の声に基づく真に必要な医療 DX 開発の推進が期待され、また、新たな世代のエンジニアが医療業界に育成されることで、今後の医療 DX において新しい風となることを期待しています。

◆研究者からのひとこと

医療 DX の推進のためには、人材の確保の問題が世界的に深刻になっています。医療 DX について少しでも興味を持ってくれる IT エンジニアを育成するために、この度、関西高校との連携により高校生を 3 人雇用しました。岡山大学病院で勤務する高校生は初めてですが、AI や DX に関わる仕事においてはデジタルネイティブである彼らの思考や、柔軟な適応能力は大きな発展性を秘めています。今後も高校と大学の連携拡大を進め、医療 DX の未来に携わる人材の育成とプロダクトの開発を強力にすすめます。



長谷井准教授

■発表内容

経済産業省の発表によると、2030 年には最大 79 万人の IT 人材が不足することが報告されています。その背景には、AI を含む IT 技術の驚異的な発展による市場の拡大と、慢性的な若年世代の人口減少の持続、IT 教育や人材育成の遅れによる影響などが顕著化していることが挙げられます。また、年齢に関わらず、エンジニアとしての能力によって雇用する流れが世界中で起きています。2023 年 6 月には、アメリカの SpaceX 社が 14 歳の少年をソフトウェアエンジニアとして雇用することを発表し



PRESS RELEASE

ました。また、国内においても、文部科学省は高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業を開始しており、従来の大学や大学院などの学歴だけでなく、社会実装につながる高い専門技術を持って、自由な発想でプロダクト開発を行う新しい流れが出てきています。医療においても、IT 技術を駆使して DX 化を進めることは重要な課題ですが、医療 DX に関わる人材育成はまだ未整備であり、教育機会も不足しています。

そこで、岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）医療情報化診療支援技術開発講座の長谷井嬢准教授（整形外科）は、関西高校と連携し、高校生 3 人（坂根佑希、西出亘希、濱野新太）の雇用を行い、医療 DX にかかわる仕事に取り組んでもらうこととしました。岡山大学病院で勤務する高校生としては初めてのこととなります。彼らは、幼少期からデジタルデバイスが身近にあったため、デジタルを活用した情報収集が得意であり、スマホで買い物、読書、ゲーム、就職活動、仕事など、あらゆることをこなすためデジタルネイティブ世代とも呼ばれ、それ以前の世代とは価値観が異なるとされています。医療 DX に関する仕事を高校生のうちから行ってもらうことで、将来の医療 DX 人材の育成を目指すとともに、デジタルネイティブ世代ならではの自由な発想を存分に活かして、社会実装につながる医療 DX プロダクトの開発を行っていきます。医療情報化診療支援技術開発講座は、今後も高校や、高等専門学校との連携を拡大していき、スタートアップに繋がるシーズの開発などを目指して活動していきます。



左から長谷井嬢、濱野新太、西出亘希、坂根佑希

<お問い合わせ>

岡山大学 学術研究院医歯薬学域（医）

医療情報化診療支援技術開発講座

准教授 長谷井 嬢

（電話番号）086-235-7273 （FAX）086-223-9727



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

